

みんなが参加して学びあい

みんなで作ろう!

創り 育てる

交流センター



みんなの文化祭
来場者の声

- フリースペースが広く見易い、廻って見れるので落ち着く。
- ゆったり展示されている。
- 作品が内容別にまとめられていて良い。
- 参加者（出展者）が多く、作品の種類も多岐にわたる。
- 文化祭開催のPRがもっと欲しかった。特に様々な催しについて、分かり易いPRを。
- サブ玄関からの勾配には注意が必要。
- ホールは音響が良いと思われる。
- ホールの床は、木で滑りにくく、多目的に使用出来て良いと思う。

30代から80代までの男女10組
みんなの文化祭で聞きました

「かえで」の印象を聞いて多かったのは、来館回数にかかわらず「フリースペースの雰囲気がいい」「子どもたちが利用しているのはにぎやかでいい」という感想。また既に何回も所属サークルで使っている人からは、ホールが小さい、工作室（クラフトルーム）を仕切って使用するとき、片方の部屋には窓がないところが息苦しい等具体的な印象が話されました。また図書館利用者からはステンドグラスを外から見えるようにしてほしいという意見があり、イベント参加者からはトイレが少ないという声がありました。

文化祭の印象は「レベルが上がった。展示の仕方が前より良くなった。池田らしい会染小の鉛筆削り展示がいい。作品みんなすごい。」等の意見が出ました。一方「かえでのwa!」を知らない人が多いのと、文化祭が毎年やっていることを知らない方もいました。最後に、「かえで」は「利用者が育てていく」「味はこれから作られる」という言葉を印象深く聞きました。

池田町
芸術文化週間
10/25～11/3
レポート

交流センターかえでが開館し、初めての芸術文化週間。作品展示から始まり、芸能発表、カラオケ大会、北安曇郡歌上映会...ラストは尾木ママこと尾木直樹先生の講演会で無事に締め括りを迎えました。

かえでグランドオープン
記念講演会に参加して

尾木ママこと、尾木直樹さんの講演会に参加させて頂きました。応募者多数の中、抽選枠に入れたのも奇跡ですが、尾木先生のお話を生で聴ける機会なんて一生の内にあるかないか...くらいな貴重な時間を頂きました。先生のお話は「人生100年時代を生きる」をテーマにしたユーモアたっぷりのお話で、会場は終始笑いに包まれていました。でも、笑いを交えながらも、本来の教育の在り方や、先進国と呼ばれる日本の教育が世界の中でいかに遅れをとっているか...など、日本という国が危機にある事をお話しして下さい、皆さん真剣に、中にはメモを取りながら聴いている人もいました。

私も、子ども達との関わり方や、これからの教育、進学、そして子ども達のその後の「生きる力」について改めて考えさせられました。尾木先生は、テレビで観るイメージ通りの優しさに溢れた本当に素敵な方で、先生の書かれた本も読んでみたくなりました。

先生、お忙しい中、遠方より池田町へお越し頂きありがとうございました。それから、こんな貴重な機会を作って下さった関係者の皆様、本当にありがとうございました。

(クロワッサン)

北安曇郡歌上映会「とても面白かった」

10月30日(水)にホールで上映された「北安曇郡歌」が充実していてよかった。作詞は県歌「信濃の国」で知られる浅井洌。明治36年に完成した北安曇郡歌は、当時の17町村(現在の池田、松川、大町、生坂、七貴、小谷、など大北地域)の地名を歌詞に盛り込み、景勝地などを歌っていて、8番まである。いつか覚えたい、と思っていたので上映会で通して聞くことができよかった。DVD上映のほかにSBCが取材し放映した「三水村」の小学校歌は北安曇郡歌によく似ているという映像が流され、興味深かった。(ふ～みん)

正面玄関を利用する人が、、、少ない!

文化祭中の販売は、当初、正面玄関でおこなっていたが、、、駐車場から近い西口から会場へ入っていく人がほとんど!! 2日目からは西口側で販売。公民館持ちのテントが出払っていて、急ぎよ役場からおしゃれなテントを借りて張り、好評でした。